

脳神経内科専門医が、下記の病気 / 症状に対して専門外来で最先端の治療を行います。

パーキンソン病・不随意運動専門外来

火曜日 午後 下 泰司

高齢化社会になるとともに増えている病気です。手のふるえや動かしづらさ、小股歩行などの症状があります。日本では iPS 細胞による治験も始まっています。

ボツリヌス専門外来

第 2,4 木曜日 午後 下 泰司

顔面のけいれん、目が開けづらい、首が曲がる、脳梗塞後等の手足のつっぱりに効果のある治療です。これまでに年間 400 回以上の治療経験があります。

DBS 専門外来

第 1,3 金曜日 午後 中島 下

当科ではパーキンソン病の運動症状に対する脳深部刺激療法 (DBS) を積極的に導入しています。外来における適応評価や治療導入後の調整、既にデバイス治療を導入されている患者さんのトラブルについても対応させていただきます。

担当医師



下 泰司



江口 博人



中島明日香

もの忘れ専門外来

第 2,4 月曜日 午前 江口 博人

もの忘れは、加齢による場合もありますが、病的な場合は専門的な診察による早期評価・治療が必要です。

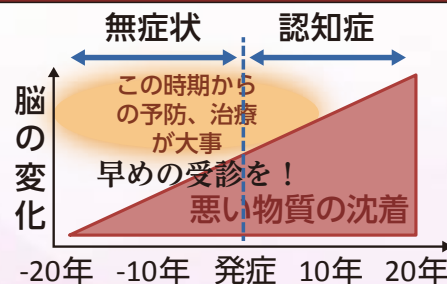
パーキンソン病の主な症状

手足が動か
しづらい

手足が
ふるえる

小股歩行

ものわすれは早期診断、早期介入が大切



受診希望の方は予約センター (03-5923-3240) までお電話ください。紹介状を持参されることをお勧めします。

